

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	観葉女性部Ms.の会
取組	(2) 地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	会員 5 名(うち女性農業者 5 名) (令和 4 年 4 月時点)

1 事業実施方針

指宿市は、温泉熱を利用した全国でも有数の観葉植物の産地で、栽培の歴史は古くおよそ 80 年前からと言われている。多種多様な品目が生産され、JA いぶすき観葉植物部会として約 10 億円売上げているが、一般消費者にはその知名度は低い。一方、コロナ禍による巣ごもり需要やSDGsの取組目標により観葉植物のニーズは高まっている。そこで、時流にのり、産地として発展していくために、消費者目線を活かした販売方法や情報発信の手法を学び、指宿市の主要産業の一つである観光業等との連携を進めることで、知名度向上と販路開拓を目指す。同時に、地域の女性農業者がマーケットインの思考を持ち、活躍の幅を広げることを目的とする。

知名度を向上させようとJAいぶすき観葉部会(部会員 49 名)が受皿となり、令和 2 年度、関係者(市農政課・市観光課・市ふるさと納税課・JA いぶすき・県地域振興局・観光協会・生産者代表)が一体となり、「観葉のまち指宿協議会」を立ち上げた。その取組の一環で、4 名の女性農業者が中心となりロゴマークを作ることを検討し制作した。そのロゴマークについては、JA いぶすきが商標登録を進めている。令和 3 年度には、販売する観葉植物にぶら下げるタイプの園芸タグを作成した。

マーケティングについて勉強中であり、それらの活動の中で、女性農業者らの声や活動を反映させる重要性が認識され、さらに女性農業者らの活動の充実が求められている。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

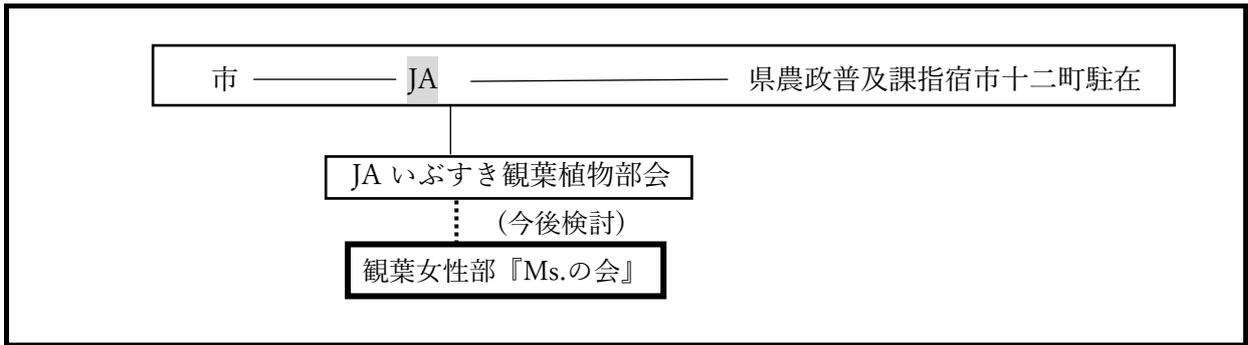
令和 2 年度結成された「観葉のまち指宿協議会」では、女性たちの声も反映させ、キャッチコピーとして「みどりに恋を。観葉のまち指宿」を考案し、ロゴマークを作成。令和 3 年度は、それを活用した園芸タグを作成した。これらの取組で、生産者の代表で中心的な役割を担った女性らを中心に 5 名で観葉女性部『Ms.の会』を再結成した。このグループは、平成 27 年度から活動休止状態であったが、生産者の世代交代や時代のニーズに対応するべく活動を再開し、取組の強化を図ることとなった。

<観葉女性部『Ms.の会』>(5 名)

会長 1 名、 副会長 1 名、 会計 1 名、 広報担当 1 名、 渉外活動担当 1 名

広報担当 : SNS を活用した産地の情報発信等の担当

渉外活動担当: 異業種(観光業など)との連携担当



(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 新規就農者の研修・体験受け入れ 観葉植物を使ったワークショップ	男性1名、女性2名(2021年度) 2回(55名参加)	
(今後の取組) 1)新規就農者の研修・体験受け入れ継続 2)女性農業者活躍の情報発信(情報発信媒体(SNSなど)) 3)地域関係機関(JAいぶすき・指宿市・県・観光協会等)との情報交換・求人協力依頼	1)年間4人(目標) 2)年6回(目標) 3)年2回(目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)関係機関(JAいぶすき等)での勉強会・研修会参加を通じた関係性・ネットワーク構築	1)2021年6月、11月	
(今後の取組) 1)定例会の開催 2)研究会(SNSを活用した情報発信について)実施 3)異業種(観光業等)との連携 4)知名度向上のためのマルシェ実施	1)隔月実施(目標) 2)年間3回程度(目標) 3)2回(目標) 4)1回(目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
＊会長は指宿市担い手協議会会員，副会長は農業次世代人材投資事業審査会委員として，認定農業者への波及や新規就農者の定着支援中である。 1) 市場調査及び販売先での情報収集 2) 販路開拓のためのマルシェ実施	1) 知名度アンケート実施 100名 2) 1回	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	消費者ニーズの把握が不十分
②	情報発信力やマーケティングの知識不足
③	市の主要産業である観光業との連携が不十分のため，入込客への「観葉のまち指宿」の知名度が低い。
④	新規就農者の研修・体験受け入れの体制が不十分。

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	消費地での市場調査や消費者100名に意向調査の実施。
②	SNS活用研修会の開催(2回)

②	グリーンマルシェの開催(2回)
③	異業種(ホテル)と連携したPR(1回)
④	SNSを活用した農園紹介や栽培管理方法紹介

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	消費地での消費者の意向や市場関係者の意向を直接聞き取り、組織内で情報共有を図り、栽培品目を精査する。
②	消費者ニーズを反映した販売戦略を立てる。
③	観光業と連携し、2回グリーンマルシェを実施する。
④	産地の情報をSNSを活用し年6回発信する。

【事業内容(詳細)】

課題番号	時期	グループ活動内容(対象者・方法等)	事業実施経費(費)	備考
①	2022年7月	対象者: Ms. の会会員5人 視察先: 福岡県 視察先にて市場調査及び販売先でのマーケティングに係わる情報収集	旅費 176,227円	謝金・旅費規定に基づき算出
②	2022年7月 2022年8月	・マーケティング論①(SNS発信の基礎知識について) ・マーケティング論②(効果的なSNS発信) (対象者: Ms. の会会員・外部講師による研修会)	謝金 48,800円 旅費 6,149円	謝金・旅費規定に基づき算出
②	2022年9月 2022年12月	・グリーンマルシェの開催 (対象者: Ms. の会会員・異業種と連携し会場を借り上げてマルシェを実施)	消耗品 151,884円	
③	2022年8月	・異業種との連携 (ホテル内で展示、宿泊客を対象とした知名度アンケートとお気に入り商品の人気投票の実施)	消耗品 7,000円 通信運搬費 8,900円	人気投票参加当選者へ商品の送料
④	2022年10月	・新規就農者・体験受け入れ 産地、農園、栽培管理等についてSNSを活用し情報発信。 (外部講師のアドバイスにより既存のものをブラッシュアップする)	謝金 54,900円 旅費 9,224円 消耗品 16,718円	謝金・旅費規定に基づき算出

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	10人		
(新規確保女性農業者の内訳)			
自営農業就業者	6人、雇用就農者	2人、アルバイト・ボランティア等	2人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。